

2014年度雪氷期に向けた取り組み —大雪予測時の事前情報提供による出控えや冬用タイヤ装着のお願い—

中日本高速道路株式会社は、今年2月の大雪において、東名高速道路や中央自動車道の通行止めが長時間化し、お客さまにご迷惑をおかけしたことから、この冬から早いタイミングでの雪に関する情報提供に努めてまいります。

合わせて、雪による通行止め回避および通行止め時の早期解除を図る取り組みの強化、高速道路と一般道路が一体となった通行確保に向けた関係機関との更なる連携強化など7つの取り組みを実施します。

お客さまには、冬の高速道路を安全にご利用いただくため、大雪が予想される場合には、不要、不急のお車のご利用をお控えいただくとともに、早めの冬用タイヤ装着にご協力をお願いします。

【取り組み内容】

今年2月の大雪による、東名高速道路と中央自動車道での長時間の通行止めを踏まえ、東名高速道路及び中央自動車道での対策を手始めに順次全社展開を図っていく。

1. 大雪前の情報提供の充実にに向けた取り組み

- ① 気象予測を参考に降雪3日前程度から大雪に関する事前の情報提供を実施

2. 安全啓発の取り組み

- ② 大雪予測が発表された際の出控えや冬用タイヤの装着について、公式WEBサイトやリーフレット等を活用した安全啓発を実施

3. 大雪でも高速道路の通行を極力確保するための取り組み

- ③ 除雪車両の増車（ロータリー除雪車7台追加配備）、広域応援派遣などによる除雪体制の強化
- ④ 立ち往生車両発生防止のため、気象状況および縦断勾配を考慮した除雪車両等の集中投入
- ⑤ 除雪作業の支障となる立ち往生車両を早期に発見し、直ちに移動するための監視設備の新規設置、GPSと携帯回線を活用した車両位置情報システムの全除雪車両への導入

4. 国・県・警察等関係機関との連携に向けた取り組み

- ⑥ 高速道路と一般道路が一体となった通行確保に向けて、緊急交通路確保連携および情報共有のための連絡体制の強化

5. 災害対策基本法改正を踏まえた対応

- ⑦ 改正された災害対策基本法に基づき、立ち往生車両や放置車両への対策を実施

2014年2月大雪において東名・中央道の通行止めが長時間化し、社会的に大きな影響を及ぼしたことから、東名高速道路と中央自動車道における課題を踏まえた2014年度雪氷対策を、東名高速道路と中央自動車道を手始めに順次全社展開し実施します。

【2月大雪時の課題のポイント】

1)お客さまへの情報・支援不足

- ① 通行抑制に向けた事前情報が直前であった
- ② 予報が豪雪で無かったため、
お客さまの冬装備不十分

2)通行止めの長時間化〔長時間滞留の発生〕

- ③ 降雪予測が少なかったため、
除雪体制強化が不十分
- ④ 滞留車の影響で立ち往生車両の救出に
時間を要す
- ⑤ 立ち往生車両、滞留状態の把握が不十分
- ⑥ 他の道路管理者との連携不十分

【2014年度に向けての対策のポイント】

1)お客さま対応の拡充

- ① 大雪に関する情報の早期提供 資料2-2
- ② 出控えや冬用タイヤの装着をお願いする
など安全啓発の実施 資料2-3

2)通行止め時間の最小化

- ③ 除雪車両の増車、広域応援派遣など
除雪体制の強化 資料2-4
- ④ 立ち往生車両発生防止のため除雪車両の
集中投入、レッカー車等の事前配備強化
- ⑤ 現場状況の早期把握のため遠隔監視強化 資料2-5
- ⑥ 高速道路と一般道路が一体となった通行
確保のための連携強化
- ⑦ 災害対策基本法改正に基づく立ち往生車
両等への対応

【今冬の対策】

①大雪の気象予測が出された場合に、大雪時の出控えや冬用タイヤ装着について、公式WEBサイトや高速道路上の広域情報板等を活用して、お客さまへの事前の情報提供を実施します。

○気象予測を参考にした降雪3日前程度からの事前の大雪に関する情報提供を実施します。

○出控えに繋がるキーワード「通行止め」「無理のない計画」などを用いながら、除雪作業状況等、より詳細な各種提供ツールを定期的に更新して発信します。

【公式WEBサイト掲載例】

(大雪事前広報の公式WEBサイト掲載例)

緊急情報 緊急情報

●月●日～●日 関東・甲信地方に大雪の予報が発表されています

201●年●月●日～●日 関東・甲信地方に大雪の予報が発表されています。今後の気象予報をしっかりとチェックし、不要不急の外出は控えるなど、お出かけ計画の見直しをお願いします。

冬の高速道路を走行するときは、冬用タイヤを装着するとともに、タイヤチェーンの携行をお願いします。

【関連情報】

- 雪道走る前に知っておきたい情報は こちらから **冬のドライブガイド**
- リアルタイムの路面状況・交通情報や気象予測は こちらから **アイハイウェイ中日本**

【公式WEBサイト等 情報提供ステップ例】

情報提供 ～3日前程度～
○地域ごとの大雪予報
○気象予報のチェックと出控え、冬用タイヤ装着

情報提供 ～2日前程度～
○区間ごとの大雪予報
○気象予報のチェックと出控え、冬用タイヤ装着

情報提供 ～24時間前程度～
○区間ごとの大雪予報と通行止めの可能性
○気象予報のチェックと出控え、冬用タイヤ装着

【広域情報板表示例】

● 広域情報 ●
○日～○日 関東・甲信地方
大雪予報 気象情報の確認を！

● 広域情報 ●
○～○日 関東・甲信地方 大雪
雪道タイヤ、チェーン必要！

● 広域情報 ●
○～○日 関東・甲信地方 大雪
通行止めの可能性あり

【今冬の対策】

②大雪時の出控えや冬用タイヤの装着について、公式WEBサイトに新たなコンテンツを開設し、リーフレット等の広報ツールを活用した安全啓発を実施します。

■雪道走行・雪道装備の安全啓発

○雪路面での立ち往生による交通傷害、雪道での事故に関して、お客さまに『雪道走行時の冬用タイヤ及びチェーンの必要性』『降雪・積雪時における普通タイヤでの立ち往生の危険性』等の共通認識を持っていただくことを目的として啓発を実施します。

○「雪道装備(冬用タイヤ装着及びチェーン装着)」、「雪道走行」をキーワードに、各種広報ツールによる啓発を実施します。



公式WEBサイト
 【雪道ドライブガイド(イメージ)】



ポスター
 【雪道装備・雪道走行(イメージ)】



リーフレット
 【冬道走行に気をつけガイド】

【今冬の対策】

- ③・通行止めの可能性が想定される場合に、除雪車両等を集中投入するための広域応援派遣体制を構築します。
 - 南岸低気圧又は冬型の気圧配置などの気象パターン、予測降雪量から応援派遣の実施基準を設定
 - 応援派遣は、3日前気象予測を参考に準備、24時間前気象予測を参考に決定、予測降雪開始時刻の1時間前を目安に現地配備を標準として設定
- ・除雪車両を増強します。(ロータリー除雪車:追加配備7台、トラクターショベル:20台配備)

気象タイプごとの降雪傾向



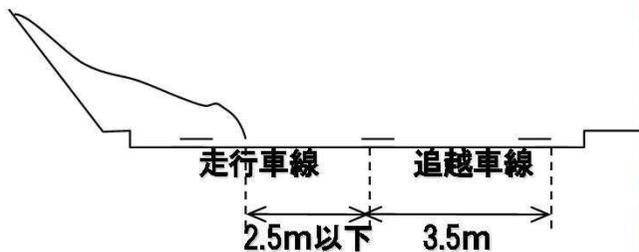
凡例 ○：気象の影響を受けにくい
△：地域によっては気象の影響を受ける場合がある
×：気象の影響を受ける



《ロータリー除雪車による排雪作業状況》

【今冬の対策】

- ④立ち往生車両発生箇所近傍にレッカー車・トラクターショベルを増強します。
- ⑤除雪作業の支障となる立ち往生車両を早期に発見し直ちに移動するために、立ち往生多発箇所や発生しやすい箇所に道路監視カメラを増設します。(東名3箇所、中央道11箇所)
雪氷作業の的確な指示・判断の支援として、GPSと携帯回線を活用した車両位置情報システムを導入します。
- ⑥高速道路と一般道路が一体となった通行確保に向けて、緊急交通路確保の考慮した連携及び情報共有のための連絡体制を強化します。
- ⑦改正された災害対策基本法に基づき、立ち往生車両や放置車両への対策を実施します。



《緊急交通路確保状況》



《トラクターショベルによる除雪作業状況》

【参考】2月14日からの降雪に伴う東名の通行止め概要

東名高速道路

○除雪能力を超える大雪となり、事前の応援体制が準備できず、立ち往生車両及び多数の滞留車両が発生。その救出に約24時間、通行止め解除に約45時間を要しました。



【参考】2月14日からの降雪に伴う中央道の通行止め概要

中央自動車道

○除雪能力を超える大雪となり、事前の応援体制が準備できず、立ち往生車両及び多数の滞留車両が発生。その救出に約27時間、通行止め解除に約73時間を要しました。

※赤線：通行止め区間
※最大通行止め時間：延べ73時間
下り線 大月IC～八王子IC
14日 22:30～17日 23:00

